

早稲田大学 商学部 国語 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分
特徴・その他	レベルは例年通りで標準的な問題が多い。今年も現古融合問題が出た。全体的にみて、例年よりも空欄補充問題が少し増加した。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
一	長文読解問題 (現古融合型)	標準的なレベルであり、素直な問題が多い。高得点を狙える。	標準
二	長文読解問題 (アイデアと科学理論について)	大問一よりも本文が長く設問も多い。内容的にみて、二よりレベルがやや高い。	標準

〔総合コメント〕

一と二の時間配分に気をつけないと、二で時間不足になりやすい。二のような哲学的な文章は日頃から読み慣れていないと、わかりにくかったであろうと思われる。総合的にみて、合格点は7割強であると予想される。